中

#\救のサイボ

スクラ

やつ/



下った



0

フ

グの残骸の

ブの山の上

なんでかな

和

本当

あつ

や



その少女だけが奇妙に生々しいのである

不思議な子だな

置き捨てられている

0

なまなま

0

イドは後ろ髪を引かれるような思いにかられながらも斜面を下りはじめる。そして数歩

ところで再び後を振りかえった。その少女の残骸は変わらずにオレンジ色の夕陽の

ンに加えられたのに

可愛

0

子た。損傷がもぅ少し軽ければ、機体を持ち帰って地下のアンテ

別れを告げようと背をむける0

イドは軽く吐息をもらし、



クコレクシ

こりこりと頭を搔いた。そして立ち上がると少女のスクラッ



の古いゴミにすぎなかったのである。 あと、百年早く見つけたかつたな。



す要素はこの少女のボディになかった。すでにこのサイれ

グの少女の残骸はまったく

ざんがい

盤も風化、損傷、または脱落してしまつている。人望贫柩も半分以上ちぎヒてしまつてお

, 癌>1—/- I 0 >44雜

、その機能性はすでにうかがい知ることはできない％これではもうイドの知的欲求を茼

せきつい